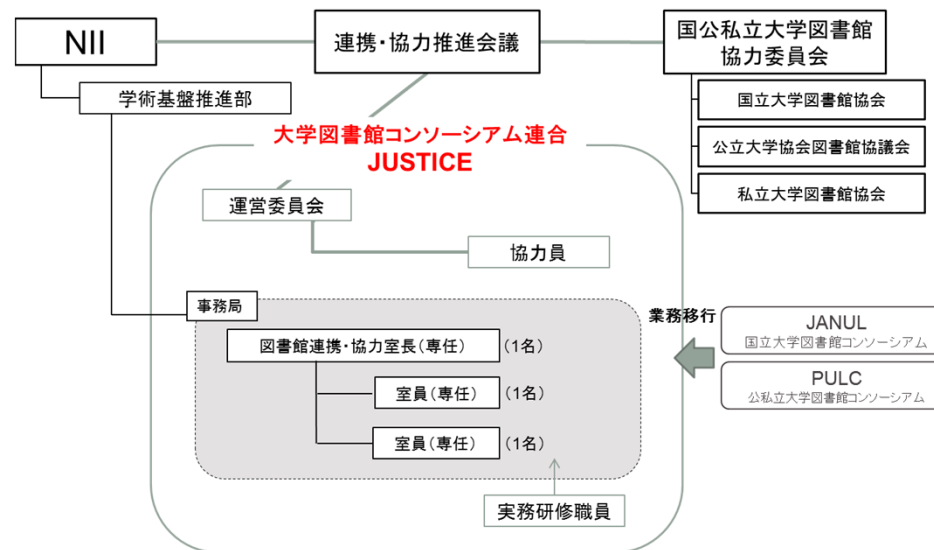


JUSTICE事務局での研修について

国立情報学研究所 図書館連携・協力室 平成23年度実務研修生
柴田育子・西脇亜由子・藤江雄太郎

NIIとJUSTICEの関係

- ▶ NIIと国公立大学図書館協力委員会のもとにある連携・協力推進会議
- ▶ この会議のもとにJUSTICEがある。
- ▶ JUSTICE事務局はNII内に置かれている。
- ▶ NII図書館連携・協力室 = JUSTICE事務局



こんなところで働いています。

学術総合センター21F

学術コンテンツ課

図書館連携・協力室
(JUSTICE事務局)



JUSTICE事務局での実務研修

- ▶ 各自の研修課題への取り組み・・・各自の課題意識とJUSTICEの課題を照らし合わせて

こちらは後程、一人ずつ発表します。

- ▶ 事務局業務を通じてのOn the Job Training

まずはこちらについて発表いたします！

打ち合わせ・交渉への参加

- ▶ 海外出版社の日本担当者とのものが大半
- ▶ 基本的に全て参加
- ▶ 発言もできるので、かなり有意義な経験となる
- ▶ 出版社ごとの学術情報流通に対するスタンスや、海外の本社と日本支社の関係性などを知ることができる
- ▶ 打ち合わせメモの作成を通じて、理解を深める

9月1日～3月16日までで、延べ62回
の出版社との打ち合わせ・交渉

さまざまな情報交換の機会

- ▶ 海外のコンソーシアムの方との情報交換
 - ▶ 他国の状況についての最新情報の入手。さらにそれを端緒として、より詳細な調査の実施。
 - ▶ 世界における日本のマーケットの現状という視点での現状俯瞰につながる。
- ▶ 日本の出版関連団体との情報交換
 - ▶ 日本語学術コンテンツの電子化の動きについて、動向を知ることができる。

カナダのコンソーシアムBC ELNの
ゴードン・コールマン氏との情報交換



関連企画・行事への参加など

- ▶ JUSTICE関連の行事への運営・参加
 - ▶ 版元提案説明会の運営補助(柴田, 藤江)
 - ▶ JANULシンポジウムの運営補助<後援>
 - ▶ ICOLCへの参加(柴田, 西脇[予定])
 - ▶ 横浜市内大学図書館コンソーシアム研修会での講師(柴田)など
- ▶ JUSTICE関連の原稿執筆
 - ▶ 『大学図書館研究』(柴田)
 - ▶ 『図書の譜』(西脇)
 - ▶ 『電子資料契約実務必携』(柴田, 西脇, 藤江)

事務局専任職員と席を並べる

- ▶ これまで何年も電子資料契約やコンソーシアム業務に関わってきた事務局専任職員の方と席を並べての研修
 - ▶ 不明点などあれば、その場で質問ができる
- ▶ 事務局に入ってくるさまざまな情報の共有
- ▶ 事務局の日常の調査業務や、資料の作成を一部手伝わせてもらう



国公私の垣根を越えた組織

- ▶ JUSTICEという組織は、国公私横断的な組織であるということ
 - ▶ 「学術情報の整備」という観点を中心に、国立・公立・私立のお互いの状況を知ることができる。
 - ▶ 事務局(実務研修生含む)も、国立と私立の職員が肩を並べて、仕事をするので、それぞれの情報を交換できて面白い。

(参考)参加館の構成

国立	公立	私立	その他	合計
94	61	352	2	509

(2012年3月15日現在)

NIIの実務研修生であるということ

- ▶ JUSTICE事務局であり，NII図書館連携・協力室である。
- ▶ NIIの学術コンテンツ事業について話を伺ったり，実際の業務見学もできる。
- ▶ NII(とくに学術コンテンツ課)の現状や，現在進行中のプロジェクトについても知ることができる。



H22実務研修生静岡
大・杉山さんとの懇談

ありがとうございました。

- ▶ JUSTICE事務局での研修がどんなものであったかを簡単にご説明させていただきました。
- ▶ 感想については、それぞれの発表の最後に申し上げます。



